

令和1年度
原田学園ことばの支援センター
児童発達支援
利用者向け評価表集計結果報告書

概要

調査時期：令和1年11月5日～令和1年11月30日

配布数：78名 回収率 = 71%

結果と改善策

1. 環境・体制・整備面について

支援に使用するスペースや職員の配置には、おおむね満足いただいているようです。

支援で使用するすべての空間のスチームクリーナーや次亜塩素酸ナトリウムでの除菌・消毒を引き続き行なっていきます。

同じ空間に複数のお子様がいる場面での接触が危惧される遊びに関してご意見をいただきました。このような場面では職員が主導して注意喚起や、別の空間への移動、他の遊びの促しを行いたいと思います。

結果と改善策

2. 適切な支援の提供について

ほとんどの利用者様に満足いただいている結果となりました。

支援内容に関しましては、さらなる充実を目指しております。研修等を通じて、支援の質の向上に今後も励んでまいります。何かお気づきの点は、お声かけいただきますようお願い申し上げます。

結果と改善策

3. 保護者への説明などについて

おおむね満足していただけているようですが、支援内容の説明に関して不十分な点があったようです。個別支援計画書をお渡しする際だけではなく、日々の支援場面も通して、すべての利用者様に丁寧な説明が行き届くように努めてまいります。

事業所内の掲示板や、SNS(Facebook、Instagram)にて行事予定や活動の報告も行っております。ぜひご覧ください。

結果と改善策

4. 非常時等の対応について①

緊急時対応や感染症対応のマニュアルの設置状況に関して、利用者様への周知が十分にされていない状況がありました。より分かりやすい掲示を行い、皆様に理解していただけるように改善いたします。



結果と改善策

4. 非常時等の対応について②

非常災害時の避難訓練に関して、当センターは支援形態や頻度の性質、さらに登録人数が放課後等デイサービスも含め約300名いることから、すべての利用者様に参加していただく訓練を実施することは困難であると判断しております。同時に職員は定期的にセンターが入っている学校と合同で避難訓練を実施し、また利用者様向けの災害時の講座も実施してきました。

今回のアンケート調査で、お子様や保護者様向けの避難訓練や研修の実施希望をお聞きしましたが、「どちらでもない」「いいえ」と回答された方が「はい」を上回りました。この回答の背景には保護者様のお仕事の都合で、参加が難しいことが一因にあると推測されます。そのためすべての皆様に参加していただく避難訓練はこれまで同様に実施しない方向で考えております。しかし、皆様の安全を確保することが責務であると考えております。非常時の適切な行動がこれまで以上に皆様に伝わるようなマニュアルの作成と周知、定期的な注意喚起のために職員が参加した避難訓練の報告書の掲示を今後は行います。

結果と改善策

5. 満足度について

療育内の「遊び」の時間についてご意見をいただきました。今回の療育内での時間設定に関する話題に関わらず、利用者様が疑問に持たれた点に関しては、丁寧に説明できるよう心がけてまいります。何か気になる点がございましたら、お気軽にお声かけください。

同時に、お子様が楽しみに通っていただいているとのご意見を多数いただき、励みになりました。今後も皆様のご期待に添えるよう、スタッフ一同努力してまいります。

結果と改善策

6. 要望について

保護者会や地域との交流を、多くの方は望まれていないようでした。そのため、現時点ではこれらの活動の積極的な企画はいたしません。が、当事業所では今年度より「保護者向け講座」を実施しております。講座の中で保護者様同士の交流も自然と生まれてきているようです。次年度も実施を予定しておりますので、ご興味を持たれた方はぜひご参加ください。

同時に、これらの活動については今後皆様のご要望に応じて検討してまいります。皆さまのご意見をお待ちしております。

参考 今回用いた評価表

保護者向け 児童発達支援評価表

記入日：平成 年 月 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境 体制 設備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。					
	②	職員の数や専門性は適切ですか。					
	③	療育の空間は、本人にわかりやすく(構造化された環境)になっていますか。また設備等は、特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされていますか。					
	④	療育の空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子どもの活動に合わせた空間になっていますか。					
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*が作成されていますか。					
	⑥	児童発達支援計画には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」等、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか。					
	⑧	活動プログラム*が固定化しないよう工夫されていますか。					
保護者 への 説明等	⑨	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。					
	⑩	児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。					
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*等）が行われていますか。					
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。					
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。					
	⑭	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	⑮	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。					
	⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					
	⑰	個人情報の取扱いに十分注意されていますか。					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
非常時 時の 対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
満足度	⑲	子どもは通所を楽しみにしていますか。					
	⑳	事業所の支援に満足していますか。					
要望	㉑	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携を希望されますか。					
	㉒	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の子どもと活動する機会を希望されますか。					
	㉓	当事業所では、非常災害や緊急時を想定した職員向けの研修・訓練を定期的に行っております。今後、子どもと保護者にご参加いただける非常時の研修・訓練を希望されますか。					

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

(保護者等の皆様へ)

- この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。